

実施日：11月12日（火）	
教科等：特別の教科 道徳	
取組名：ネットにおける人権侵害	
対 象：1年生	実施場所：教室
ア ねらい インターネット上での人権侵害の現状を知り、解決しなければならない現実の課題であることを実感し、責任ある行動をしようとする態度を育てる。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 優勝校の校歌映像を利用し、現実が発生している問題であることを感じる。 ・ 映像教材を鑑賞し、自分自身がどう思ったか考える。 ・ 小集団から大集団へ広げつつ、意見を発表し合うことで考えを深める。 ・ SNS上でさまざまな誹謗中傷が出てきたことを伝え、あなたならどう反応するか、考える。 ・ 自他ともに大切にできる言動が大切であること、また事実を知らないことで相手を傷つけることがあることを気付かせる。誹謗中傷に対し行動する場合、何が必要か（自分自身に何が足りないか）考える。 ・ 個人だけでなく、集団としての意識やふるまいなど人権を守ろうとする雰囲気大切であること、そして歴史的なことも含め正しく学んでいくことが必要であることを伝える。 	
ウ 連携先：小学校	
エ 連携にむけての取組 小学校の教師が参観し、中学校での様子や内容を実際にみてもらうことで小中の学びの継続をより深いものにしていく。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行う上での工夫点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学年で事前打ち合わせを行い、また他学年も含めた委員会の中でも指導方法を検討する。 ・ 授業研修を行い、教職員が授業参観形式で参加し、事後研修で意見交換する。 ・ 授業内での生徒の行動観察や意見発表、ワークシートに記入した感想などから評価する。 	
カ 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中のグループワークの観察 ・ ワークシートの点検、評価 	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 何気ない身の回りでも差別事象があり、その事象に気付いていないことに気が付けた。 ・ 世の中には自分が想像していないような考えをもつ人がいることに気が付けた。 	
ク 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が当然であると思っていたことを否定されたときにどう正しく説明できるか、知識的にも行動的にも足りないところが多くみられた。 ・ 学んだことは理解できたが、その考えを一般化し、応用する力をこれから身に付けていく。 	